

## 新製品紹介

### 1×4光ファイバカプラ

今回、当社は一括熔融延伸技術を適用した1×4光ファイバカプラを開発した。

これまで、コスト低減の観点から1×4光ファイバカプラは1×2光ファイバカプラを2段接続した構成を取っていたが、今回開発した製品を適用することで、さらなる低コスト化、パッケージの省スペース化が実現できる。

熔融延伸技術を用いた1×2光ファイバカプラについては十分な製造実績があり、そこで培った製造技術を応用することで優れた光学特性と高い環境信頼性を実現できた。

サイズに関しても従来1×2光ファイバカプラと同等であり、クロージャトレイへの収納の面でも優れた製品である。また、耐ハイパワー入力特性

にも優れており、映像配信用分岐スプリッタとしても最適である。

#### 特徴

1,310nm帯および1,550nm帯の2波長帯で動作可能

低過剰損失，低挿入損失温度依存性を実現  
低コスト，優れた光学特性を実現

あらゆるタイプのクロージャトレイに収納可能（本体サイズ 3×58mm）

高い信頼性 [Telcordia GR-1209-CORE, Telcordia GR-1221-CORE]

高い耐入力パワー特性

（光デバイス事業推進室光デバイス技術部 木村）

表1 1×4光ファイバカプラ仕様および特性

項目	単位	仕様
使用波長	nm	1,310 ± 20および1,550 ± 20
使用温度		- 20 ~ +75
保存温度		- 40 ~ +85
挿入損失	dB	7.4
挿入損失偏波依存性	dB	0.3
均一性	dB	1.5
反射減衰量	dB	50
方向性	dB	50
耐光パワー入力	W	1
使用ファイバ	-	シングルモードファイバ（250 μm被覆）
ファイバ長（各ポート）	m	約1
寸法（本体）	mm	3.0 × 58L



図1 1×4光ファイバカプラ外観図

〔お問い合わせ〕

光デバイス技術部

TEL 03-5606-1203 FAX 03-5606-1535

E-mail : opt-device@fujikura.co.jp